

本 会 記 事

2021 年度第 2 回日本農学会運営委員会議事録

日 時：2021 年 9 月 10 日（金）15 時～15 時 30 分

場 所：ZOOM 会議

出席者：

西澤直子会長，大政謙次副会長，大山卓爾監事，與語靖洋監事，松元 哲（園芸），矢部和弘（シス農），松下範久（樹木医），中村英光（植調/農薬），龍原 哲（森計），宮部和幸（地域経），岩田洋佳（育種），伏信進矢（応糖），大井田寛（応動昆），矢沢勇樹（海水），鈴木哲也（国地開（代）），松村一善（砂丘），青木直大（作物），鈴木雅京（蚕糸），春原由香里（雑草），中川貴之（獣医），山次康幸（植病），玉井幸治（森林），渡邊壯一（水産），塩出大輔（水工），安永円理子（生環），齋藤勝晴（草地），山本清龍（造園），山内啓太郎（畜産），渡邊 学（動遺育），大塚重人（土肥），宍戸雅宏（土微），上吉原裕亮（熱農），濱崎孝弘（気象），松本浩一（経営），安達俊輔（農作），田中 智（繁殖），中谷朋昭（フード），久保寺秀夫（ペドロ），青木謙治（木加工），小口広太（有機），荒木徹也（農施），石神靖弘（農情），吉田修一郎（農木工），牧山正男（農計），杉野弘明（復興），落合 陽（木質），興柁克久（林経），黒住圭子（事務担当）

欠席者：

大杉 立副会長，堀田和彦（実農），高橋輝昌（森立），飯島健太郎（芝草），土肥哲也（生態），太田能之（家禽），杉田直樹（農経），浅見忠男（農化），恒次祐子（木材）

議長：西澤会長

進行：渡邊庶務担当常任委員

議事 1. 2021 年度第 1 回日本農学会運営委員会議事録の承認について

渡邊庶務担当常任委員より資料に基づき説明があった。

議事 2. 2021 年度（第 92 回）日本農学会大会の報告

渡邊庶務担当常任委員より資料に基づき，2021 年度（第 93 回）日本農学会大会の報告があった。今回はオンラインで配信し登録者：490 名，のべ視聴者：423 名，同時視聴者：238 名，合計ユーザー数：790 名。常に 200 名以上の方が視聴し海外からの参加もあり，オンライン配信の良さがあらわれた大会となった。今後もオンライン配信を検討していく旨報告された。

議事 3. 2021 年度日本農学会シンポジウム開催案内・プログラムについて

齋藤企画委員から資料に基づき説明があった。9 月 10

日現在 200 数名の登録がされており，まだまだ参加可能なので周知のお願いがあった。

議事 4. 2022 年度日本農学賞受賞候補者の推薦依頼・推薦書

渡邊庶務担当常任委員より資料に基づき，例年通り日本農学会賞の推薦依頼を各学協会宛に送付し，推薦締切が 11 月 30 日（水）となること，また総会・選考会の開催方法についてはコロナ感染症の状況によって決定していくことが説明された。

議事 5. 2022 年シンポジウム開催日時：テーマ

渡邊庶務担当常任委員より，2022 年 10 月 1 日開催で準備を進める予定であることが報告された。玉井企画担当常任委員より資料に基づき説明があり，理事会において，学協会から提案された「脱炭素社会」，「カーボンニュートラル」，「みどりの食料システム戦略」などを組合せて再構成したテーマを考えることになった旨報告があった。

議事 6. 常任委員割り当て表

渡邊庶務担当常任委員より資料に基づき，来年度の常任委員担当学協会が確認された。常任委員割り当て表について，運営委員の山内先生から，平成 25 年度から 12 年後に再度見直しとなっているので，今後を考えて少し早めに次の順番を提示してほしいとの要望があった。11 月に会員数の調査があるので，12 月の運営委員会には割り当て表（案）を作成することで進めることとした。

議事 7. その他

1) 読売農学賞の今後についての報告

読売農学賞について，今後 2 年は賞金を半額，61 回（2024 年度）から賞状と新聞掲載のみとなることが西澤会長より口頭で説明された。山内運営委員から，学協会における説明が必要であることから，確認書の公開または共有可能性に関する質問があり，西澤会長より，読売新聞社の了解も含めて検討するとの回答があった。

2) 日本農学会英語版ホームページ開設の報告

渡邊庶務担当常任委員より資料に基づき説明があった。

3) コロナ対応アンケートについて

齋藤企画担当常任委員より資料に基づき説明があった。

4) その他

日本学術会議公開シンポジウム「生命科学分野におけるジェンダー・ダイバーシティ—大学における女性リーダーから見た課題と展望—」について渡邊庶務担当常任委員から説明があった。